

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 公益社団法人 国際日本語普及協会

1. 事業名称

難民及び主に港区在住の定住者のための日本語学習支援、日本語学習用教材作成および支援者養成事業

2. 事業の目的

地域在住の定住者と多文化共生社会の実現へ向けて共に進んでいくためには、定住者が安定した生活の基盤の上に生き生きと生活できることが前提となる。本事業においては、難民や港区在住の定住者が、生活日本語を習得し、本人の能力を生かしながら生活の安定、質の向上が図れる機会を拡充することを目的とする。

3. 事業内容の概要

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案、活用のためのガイドブック、教材例集等を活用し、定住者の生活の質向上に結びつく日本語力習得のための教室を今年度に引き続き実施する。教室実施に合わせ教材を作成、および支援者に対する研修を実施することにより、難民等の定住者に対する支援機会が拡充されることを目指す。カリキュラム、教材作成に当たっては、標準的なカリキュラム案にある各テーマの他、昨年度「地域日本語教育実践プログラム(B)」で作成、使用した教材をフィードバックを基に改定した内容を盛り込む。

4. 運営委員会の開催について

※添付資料1(「運営委員会」議事録)参照

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 5月1日 17:00～ 18:15	1時 間15 分	公益社団法人 国際日本語普 及協会	伊藤寛了、石上 和敬、岩瀬香奈 子、大友正弘、内 藤真知子、新野 佳子、樋口博	1.主催者挨拶、運営委員紹介 2.平成26年度日本語学習支援事業 実施計画、プログラム内容、使用教材、参加者募集等 3.意見交換	1.日本語支援事業参加者募集 想定参加者、募集方法、募集 案内 2.日本語支援事業講座内容
2	平成26年 9月11日 18:30～ 20:00	1時 間30 分	公益社団法人 国際日本語普 及協会	伊藤寛了、石上 和敬、岩瀬香奈 子、大友正弘、内 藤真知子、新野 佳子、樋口博	1.日本語学習支援事業について中間報告、意見交換 2.養成者支援事業について 実施計画、プログラム内容、参加者募集等 3.日本語支援事業参加者との交流会	1.日本語学習支援事業 講座内容、修了証発行等 2.支援者養成事業参加者募集 想定参加者、募集方法、募集 案内
3	平成27年 3月19日 18:00～ 19:30	1時 間30 分	公益社団法人 国際日本語普 及協会	伊藤寛了、石上 和敬、岩瀬香奈 子、大友正弘、内 藤真知子、新野 佳子、樋口博	1.取組1, 2, 3実施報告および振り返り 2.平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語 教育事業について	1.学習者支援、支援者養成事業 振返 2.来年度に向け学習者、支援者 への呼びかけ、募集方法につき 検討 3.来年度事業について

5. 日本語教育の実施

- (1) 講座名称 難民及び主に港区在住の定住者のための日本語学習支援事業
- (2) 目的・目標 難民及び主に港区在住の定住者に対し、日本語学習の機会を提供し、定住者の生活の安定、質の向上を図ることを目的とする。
- (3) 対象者 難民及び主に港区在住の定住者
- (4) 開催時間数(回数) 70 時間 (全 35 回)
- (5) 使用した教材・リソース

平成26年度日本語学習支援事業用に作成した教材を使用(添付教材)。リソースとして以下の教材等を使用:「にほんごえじてん」、「はじめましてにほん」(以上平成24年度文化庁事業にて作成)、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案

(6) 受講者の総数 18 人

出身・国籍別内訳 ※添付資料2(「日本語教室」出欠表)参照

中国	1人	インドネシア	0人	
韓国	0人	タイ	0人	ミャンマー 16人
ブラジル	0人	ペルー	0人	アンゴラ 1人
ベトナム	0人	フィリピン	0人	
ネパール	0人	日本	0人	

(7) 日本語教室の具体的内容 ※添付資料3(「日本語教室」授業報告)参照

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年 6月5日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	3人	ミャンマー(3 人)	自己紹介①	1. 日本語で初対面の挨拶と姓名、出身、家族を含む簡単な自己紹介 2. 日本の四季について(歌を通して)	小瀧雅子	新野佳子
2	平成26年 6月12日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(4 人)、アン ゴラ(1人)	自己紹介②	1. 自分の好きな物を話題に加えて自己紹介の内容を発展 2. ひらがな	松井治子	井上紀代
3	平成26年 6月19日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	8人	ミャンマー(7 人)、アン ゴラ(1人)	日本 の 四 季 ①梅雨	1. 日本 の 四 季や梅雨、天気 2. 数字(1～100)	井上紀代	内藤真知子
4	平成26年 6月26日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	10人	ミャンマー (10人)	毎 日 の 生 活 ①	1. 一日の生活について(話して、書く) 2. 数字(1～1000)	大津修	小瀧雅子
5	平成26年 7月3日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	日本 の 四 季 ②七夕	1. 日本 の 季節の習慣・文化(夏の行事体験(七夕)を通して) 2. 文字(ひらがな/漢字)	新野佳子	小形真佐子
6	平成26年 7月10日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	毎 日 の 生 活 ②	1. 一日の生活について(話す) 2. 天気のことば	小形真佐子	小瀧雅子
7	平成26年 7月17日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	毎 日 の 生 活 ③	1. 職場の挨拶・連絡 2. 文字(ひらがな/漢字)	大津修	内藤真知子
8	平成26年 7月24日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	交通①	1. 交通経路 2. 文字(ひらがな/漢字)	松井治子	樋口博
9	平成26年 7月31日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	交通②	1. 車内放送(初中級)道案内・交通経路の表現②(初級) 2. 文字(ひらがな/漢字)	松井治子	大津修
10	平成26年 8月7日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	ミャンマー(6 人)	買い物①	1. チラシの基本・重要表現、お買い得情報(初級)、チラシの重要表現・漢字等、お買い得情報(初中級) 2. 文字(ひらがな/かたかな/漢字)	新野佳子	小形真佐子
11	平成26年 8月21日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	ミャンマー(6 人)	買い物②	1. 買い物表現の基本(初級)、買い物場面でのやや複雑な表現(初中級) 2. 文字(ひらがな/かたかな/漢字)	小瀧雅子	松井治子
12	平成26年 8月28日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	あぶない! 災 害編(1)	1. 日本 の 災害、特に台風についての基本的知識、都市型台風や備えについて 2. 文字(ひらがな/かたかな/漢字)	小形真佐子	新野佳子
13	平成26年 9月4日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	ミャンマー(7 人)	あぶない! 災 害編(2)	1. 日本 の 災害、特に地震についての基本的知識、防災グッズ、避難場所や備えについて 2. 文字(ひらがな/かたかな/漢字)	新野佳子	小瀧雅子

14	平成26年 9月11日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	ミャンマー(7 人)	日 本 の 四 季 ③お月見	1. お寺見学、ご住職のお話を聞く、日本 の風習(月見について) 2. 文字(ひらがな／かたかな／漢字)	小形真佐子	ラッシーロイサン
15	平成26年 9月18日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	ミャンマー(6 人)	病気①	1. 体の名称・基本的な病状表現 2. 文字(ひらがな／漢字)	大津修	内藤真知子
16	平成26年 9月25日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	ミャンマー(6 人)	病気②	1. 病院の受診科と受診の流、医者との やり取り 2. 文字(ひらがな／漢字)	井上紀代	樋口博
17	平成26年 10月2日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	ミャンマー(6 人)	病気③	1. 問診票の内容を理解し、正しく情報を 書き込む。薬の種類と用法理解 2. 前回学習者から出た要望にそって、 血圧の正常範囲と歯医者での表現紹介 3. 文字(ひらがな／漢字)	松井治子	大津修
18	平成26年 10月9日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	ミャンマー(6 人)	天気①	1. 天気予報の基本的な言葉、表現。 ニュース等から情報入手 2. 時節柄、大雨、台風など災害時の注 意 3. 文字(ひらがな、かたかな、漢字)	新野佳子	樋口博
19	平成26年 10月16日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	3人	ミャンマー(3 人)	毎 日 の 生 活 ④	1. 日常の行動(一日の生活、休日の生 活について時系列にそって話す) 2. モデル文を参考に日常の行動(一日 の生活、休日の生活について話したこと を書く) 3. 文字(ひらがな、かたかな、漢字)	新野佳子	井上紀代
20	平成26年 10月23日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	ミャンマー(4 人)	職 場 の 支 援 ①	1. 職場の挨拶・連絡 2. 文字(ひらがな、かたかな、漢字)	大津修	小形真佐子
21	平成26年 10月30日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	職 場 の 支 援 ②	1. 求人広告に書いてあることを理解 2. 文字(漢字)	小瀧雅子	松井治子
22	平成26年 11月6日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	ミャンマー(4 人)	職 場 の 支 援 ③	1. 求人広告を見て電話をかける 2. 文字(漢字)	小形真佐子	小瀧雅子
23	平成26年 11月13日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	職 場 の 支 援 ④	1. 「仕事の日本語」面接を受ける 2. 文字(漢字)	新野佳子	井上紀代
24	平成26年 11月20日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	ミャンマー(4 人)	ライフヒスト リー① 日本に来るま で	1. 人の一生に関する語彙・表現を学 び、自分の生い立ちを話す 2. 文字(漢字)	井上紀代	小瀧雅子
25	平成26年 11月27日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	3人	ミャンマー(3 人)	ライフヒスト リー② 日本に来て から	1. これまでの自分の人生のできごとにつ いて話す 2. 自分の人生の中で、話したい内容をま とめて文章化し発表する	井上紀代	松井治子
26	平成26年 12月4日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	日本人に聞 いてみたいこ と、お勧め	1. 自己紹介や、自分の聞きたいことを聞 きあうなど、支援者との交流を通じて会 話学習 2. 文字学習(漢字)	新野佳子	松井治子
27	平成26年 12月11日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	3人	ミャンマー(3 人)	美容関連他 生活情報(区 の広報)	1. 美容(美容院、化粧)に関する表現・語 彙を学び、美容院でのやり取りができる ようになる 2. 区報などの生活情報(趣味の講座募集 など)を読んで理解する 3. 文字学習(漢字)	井上紀代	大津修
28	平成26年 12月18日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	2人	ミャンマー(2 人)	年賀状	1. 年末年始の挨拶を学ぶ 2. 年賀状の基本的な書式を理解して年賀 状を書く 3. 文字学習(年賀状に必要な漢字)	井上紀代	樋口博

29	平成26年 12月25日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	2人	ミャンマー(2 人)	日本とミャン マーの正月	1.母国の新年について説明できるように する 2.文字学習(漢字)	新野佳子	小瀧雅子
30	平成27年 1月8日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	ミャンマー(4 人)	新年紹介(日 本、母国)	1.故郷の新年についてほかの人に説明 できるよう内容をまとめる 2.まとめた内容をわかりやすく発表する 3.日本の新年について理解を深める	小瀧雅子	井上紀代
31	平成27年 1月15日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	履歴書	1.就職の際の履歴書の役割について知 り、自分の履歴書を書く 2.文字学習(漢字)	新野佳子	樋口博
32	平成27年 1月22日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	ミャンマー(5 人)	修飾面接練 習②	1.前回配付の履歴書ワークシート完成 2.面接のマナーおよび質問への答え方 練習 3.文字学習(漢字)	松井治子	樋口博
33	平成27年 1月29日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	ミャンマー(6 人)	発表会準備 ①	1.発表会のスピーチ原稿を書く 2.文字学習(漢字)	小形真佐子	新野佳子
34	平成27年 2月5日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	ミャンマー(4 人)	発表会準備 ②	1.発表会スピーチ原稿を仕上げ発表の 練習をする 2.発表会の招待状を作成する 3.招待状を手渡しする際の挨拶を練習 し、持参する 4.文字学習(漢字)	井上紀代	小瀧雅子
35	平成27年 2月12日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	ミャンマー(7 人)	学習発表会	観客の前で分かりやすくスピーチをす ることを通し、自分の日本語力に自信をも つ	小瀧雅子	新野佳子

(8) 受講者の募集方法 ※添付資料4(「日本語教室」募集チラシ)参照

港区国際交流協会、港区役所、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部RHQ支援センター及び高田馬場周
辺のミャンマー料理店、食材店等を通じて広報、参加者募集。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回)※添付資料3「日本語教室」授業報告参照



(10) 目標の達成状況・成果 ※添付資料5(「日本語教室」受講者アンケート及びアンケート集計結果)参照
講座終了後に実施したアンケート結果では、アンケートを回収した受講者全員から講座は全体を通して「とても役に立った」との回答が得られた。使用した教材についても、全員から「とても役に立った」との回答を得た。以上のことから、講座全体を通して日常遭遇する生活場面に即した「生活日本語」に焦点を当てた今回の講座は、受講者にとって有益な内容であったと考える。一方、講座の回数については、半数の受講者からは「ちょうどいい」との回答が得られたが、半数の受講者から「もっと長い方がいい」との意見も聞かれ、更に幅広いテーマの学習希望があることが窺われるが、「難民を中心として定住者に対し、日本語学習の機会を提供し、定住者の生活の安定、質の向上を図ることを目的」とした今回の講座は初期の目標を概ね達成したと考える。

(11) 改善点について

①取組内容について

- ・「生活日本語」に焦点を当てた学習では、学習者の希望もあり多くのテーマを盛り込んだが、総花的となり時間が足りない回があった。次回はテーマの絞り込みを検討したい。
- ・アンケート結果で、漢字をもっと学習したかったとのコメントが複数あった。書ける漢字だけではなく、読める漢字を増やすこと、時間的制約を考えて自宅でも練習できるようにする、習字や筆ペンの練習を取り入れた漢字の日を設ける等の方策を検討したい。
- ・上記とも関連し、生活や仕事に関連した漢字が出てくる読み物や社会性のあるニュースを取り入れることを検討したい。
- ・「丁寧な言葉を勉強したい」との希望を入れ、学習者のニーズによっては職場の接客会話等で敬語を取り入れることを検討したい。

②実施体制について

- ・途中参加の学習者が現れたり、毎回の学習者が固定しないことがあるので、臨機応変の対応は必要だが、主講師と補助講師の役割分担をより明確化し、日本語力の低い学習者に手厚く応じる方策を検討したい。
- ・クリスチャン、飲食店勤務等学習者の事情に配慮し、年末、年始のスケジュールを検討したい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 難民及びその家族や港区在住の定住者のための支援者養成事業
(2) 目的・目標 難民及びその家族や港区在住の定住者等を支援をする支援者に対する研修を実施することにより、定住者の生活の安定、質の向上を図ることを目的とする。
(3) 対象者 定住者支援に現在関わっている、または今後関わる意思のある人
(4) 開催時間数(回数) 36 時間 (全 18 回)
(5) 使用した教材・リソース

平成26年度支援者要請事業用に作成した教材を使用(添付教材)。リソースとして以下の教材等を使用:「にほんごえじてん」、「はじめましてにほん」(以上平成24年度文化庁事業にて作成)、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案

- (6) 受講者の総数 8 人

出身・国籍別内訳 ※添付資料6(「支援者研修」出欠表)参照

中国	0人	インドネシア	0人
韓国	0人	タイ	0人
ブラジル	0人	ペルー	0人
ベトナム	0人	フィリピン	0人
ネパール	0人	日本	8人

- (7) 養成・研修の具体的内容 ※添付資料7(「支援者研修」授業報告)参照

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年 10月2日 (木) 16:30~ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	日本(5 人)	日本語支援 への第1歩: 相手を知らう	1.地域の外国人の生活、立場について理解する 2.地域の日本語ボランティア教室について考える 3.外国語学習体験を通して、直接法について考える	井上紀代	小瀧雅子
2	平成26年 10月9日 (木) 16:30~ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	日本(5 人)	日本語ってど んなことば: 音	1.日本語の音声の特徴について理解する 2.日本語を学習する外国人にとって、何が困難かについて理解する視点を持つ 3.身体を使った学習方法を知る	小形真佐子	松井治子

3	平成26年 10月16日 (木) 16:30～ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	3人	日本(3 人)	日本語ってど んなことば: 文字	1. 日本語の文字表記の特徴について理 解する 2. 日本語を学習する外国人にとって、困 難点がどこにあるかを理解する 3. 楽しく文字を学習する工夫について考 える	松井治子	大津修
4	平成26年 10月23日 (木) 16:30～ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	日本(5 人)	日本語ってど んなことば: 形(文法①)	1. 日本語の文の構造の特徴について理 解する 2. 日本語を学習する外国人が文法学習 をする際、どのような点が困難かを理解 する 3. 楽しく文法を学習する工夫について考 える	小瀧雅子	井上紀代
5	平成26年 10月30日 (木) 16:30～ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	日本(4 人)	日本語ってど んなことば: 形(文法②)	1. 動詞の種類と活用を理解する 2. 動詞文について考える 3. 動詞と動詞文の学習について考える	大津修	樋口博
6	平成26年 11月6日 (木) 16:30～ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	3人	日本(3 人)	相手に伝わる 話し方	1.「やさしい日本語」その背景と意義 2.わかりやすく伝えるためのポイント 3.わかりやすく書く、話す練習	新野佳子	大津修
7	平成26年 11月13日 (木) 16:30～ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	日本(4 人)	体験行動型 の教室活動 ①	1.文化庁「標準的なカリキュラム案」 2.「生活者としての外国人」に対する日本 語教育に必要な支援とは何か 3.事例を通して「体験・行動型」の教室活 動を学ぶ	内藤真知子	小形真佐子
8	平成26年 11月20日 (木) 16:30～ 18:30	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	4人	日本(4 人)	体験行動型 の教室活動 ②	1.「生活者としての外国人」に対する日 本語教育に必要な支援 2. 支援者の役割について考える 3. 事例を通して「体験・行動型」の教室活 動 4. 実践研修における活動プランについて	内藤真知子	樋口博
9	平成26年 12月4日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	日本(7 人)	自己紹介	1.10回の実践研修の概要を知る 2.実践研修にあたって心がけるべきこと を考える 3.自己紹介をして学習者と知り合う	小形真佐子	樋口博
10	平成26年 12月11日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	日本(7 人)	生活情報の 提供	1.学習者を相手に美容院でのロールプレ イを行うために必要な準備を考える 2.学習者に必要な生活情報を提供するた めの素材、提供方法考える 3.学習者を相手に、上記の課題を実際に 体験する	松井治子	小形真佐子
11	平成26年 12月18日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	日本(6 人)	季節の挨拶 (年賀状)	1.前回の支援についての振り返り 2.季節の挨拶「年賀状」の学習の支援 3.次回日本のお正月をトピックに話すた めのグループ分けとトピック決め	松井治子	新野佳子
12	平成26年 12月25日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	8人	日本(8 人)	日本のお正 月	1.前回の支援について振り返り 2.日本の正月を学習者に分かりやすく話 す(準備)	大津修	井上紀代
13	平成27年 1月8日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	日本(7 人)	新年紹介	1.学習者の発表をよく聞き、適切に質問 する 2.日本の正月を学習者に分かりやすく話 す	大津修	松井治子
14	平成27年 1月15日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	日本(6 人)	履歴書	1.漢字の指導方法について学ぶ 2.「履歴書の書き方」の支援を通しわか りやすい支援の方法を学ぶ	小瀧雅子	大津修
15	平成27年 1月22日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	日本(7 人)	就職面接指 導	1.学習者が自信をもって面接に臨むた めの支援 2.漢字指導実践(今 会 社 店)	井上紀代	小形真佐子
16	平成27年 1月29日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	5人	日本(5 人)	スピーチ原稿 作成指導	1.「スピーチ原稿」の支援をとおり、学習 者の話したいことをいかに引き出すかを 学ぶ 2.漢字指導(駅 花 国 白)	小瀧雅子	樋口博

17	平成27年 2月5日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	6人	日本(6 人)	スピーチ、招 待文作成と手 渡の際の挨拶 指導	1.「スピーチ原稿」完成、発表の予行演習 2.発表会への招待状作成と手渡しの挨拶練習 3.漢字指導(空 電)	松井治子	小形真佐子
18	平成27年 2月12日 (木) 18:45～ 20:45	2時間	浄土真宗本願 寺派 光明寺	7人	日本(7人)	スピーチ支援 す	1.学習者の「スピーチ」を支援する 2.学習者のスピーチのコメントを書いて渡す	大津修	樋口博

(8) 受講者の募集方法 ※ 添付資料8(「支援者研修」募集チラシ)参照

港区国際交流協会、港区役所、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部RHQ支援センター等を通じて広報、参加者募集

(9) 特徴的な授業風景(2～3回)※添付資料7「支援者研修」授業報告参照



(10) 目標の達成状況・成果 ※添付資料9「支援者研修」受講者アンケート及びアンケート集計結果参照

講座終了後に実施したアンケート結果では、アンケートを回収した受講者全員から講座は全体を通して「とても役に立った」または「役に立った」との回答が得られた。学習者と対面して実際に支援を体験してみる実践研修の回、支援者のみで座学を行う回に分けて聞いてみたところ、どちらの回も全員から「とても役に立った」、「役に立った」との回答が得られた。今回使用した教材についても、全員から「とても役に立った」、「役に立った」との回答が得られた。また、自由記述によるコメント中でも、今回の座学、実践研修とも有益だったとの意見が複数聞かれたことから、今回の講座は、概ね初期の目標を達成したと考える。

(11) 改善点について

- ・後半の実践研修については、遅れて来る方等もいることを考慮し、時間の配分や講師の配置などでの工夫を考えたい。
- ・実践研修時は、補助講師を置かない等人員の配置を更に検討したい。
- ・受講者募集に際して広報活動を強化する方策を検討したい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 「生活日本語」支援用教材
- (2) 対象 難民を中心とした定住者
- (3) 目的・目標
難民を中心として定住者に対し、日本語学習支援用教材を作成することにより、定住者の生活の安定、質の向上を図ることを目的とする。
- (4) 構成・総ページ数 97 枚
- (5) 教材作成会議の開催について
開催なし
- (6) 使い方 支援を実施する支援者がその都度プリントアウトして使用することを想定。
- (7) 具体的な活用例
地域のボランティア教室等において、定住者向けに「生活日本語」をテーマとした支援活動での活用。
- (8) 成果物の添付 ※添付資料10(作成教材リスト)参照
成果物(作成教材)を添付資料として送りいたします。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

地域在住の定住者と多文化共生社会の実現へ向けて共に進んでいくためには、定住者が安定した生活の基盤の上に生き生きと生活できることが前提となる。本事業においては、難民や港区在住の定住者が、生活日本語を習得し、本人の能力を生かしながら生活の安定、質の向上が図れる機会を拡充することを目的とする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

日本語教育実施においては、講座終了後に実施したアンケート結果で、アンケートを回収した受講者全員から講座は全体を通して「とても役に立った」との回答が得られた。このことから、講座全体を通して日常遭遇する生活場面に即した「生活日本語」に焦点を当てた今回の講座は、受講者にとって有益な内容であったと考える。「難民を中心として定住者に対し、日本語学習の機会を提供し、定住者の生活の安定、質の向上を図ることを目的」とした今回の講座は初期の目標を概ね達成したと考える。

日本語教育を行う人材の養成・研修においては、講座終了後に実施したアンケート結果で、アンケートを回収した受講者全員から講座は全体を通して「とても役に立った」または「役に立った」との回答が得られた。学習者と対面して実際に支援を体験してみる実践研修の回、支援者のみで座学を行う回に分けて聞いてみたところ、どちらの回も全員から「とても役に立った」、「役に立った」との回答が得られた。今回使用した教材についても、全員から「とても役に立った」、「役に立った」との回答が得られた。また、自由記述によるコメント中でも、今回の座学、実践研修とも有益だったとの意見が複数聞かれたことから、今回の講座を通して参加者にとって有益な研修機会の提供ができ、初期の目標が達成できたと考える。

日本語教育のための学習教材の作成においては、日本語教育事業参加者に対する講座終了後のアンケートで、全員から「とても役に立った」との回答が得られた。今回の事業実施を通して、日常遭遇する生活場面に即した「生活日本語」を身につける上で有効な教材を提供し得たと考える。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

日本語教室の学習テーマや内容を検討する際、カリキュラム案が生活日本語のテーマを広範に扱っているのが有用であった。

「標準的カリキュラム案」は文化庁のホームページで公開されているので、内容を支援者に紹介することで、その考え方を学び、地域の日本語支援に必要なことは何かを掴む手立てとなった。受講者がこれから実際の支援を行っていく上でも役立てていくことができるのではないかと考える。

支援者研修において、文化庁より配布されたテキストも手に取って参照した。カリキュラム案を初めて目にする支援者にとっては、資料が多すぎて初めはとっつきにくいようであった。今回の講座では、教材例をその通りに行うのではなく、学習者に合わせて手を加えて利用することにも触れ、実際の支援の場で役立つ教材作成の方法を紹介した。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今年度は以下の地域関係者に運営委員会に加わっていただき、事業の企画、運営、参加者募集および研修会場提供において協力を仰ぎ事業を進めた。

1.公益財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部(業務課 伊藤寛了氏)

2.港区国際交流協会(元常務理事 大友正弘氏)

3.株式会社アルーシャ(在港区虎の門、代表取締役岩瀬香奈子氏)

4.浄土宗本願寺派梅上山光明寺(在港区虎の門)住職・武蔵野大学教養教育部教授(石上和敬氏)

日本語教育実施においては、難民認定されていない方を含めたミャンマー人等コミュニティと関係の深い難民事業本部の協力が欠かせないものであった。日本語教育を行う人材の養成・研修においては、参加者が実際に支援活動を行う主な現場となる港区国際交流協会との連携、協力が必須である。両事業実施において、港区で様々な地域コミュニケーション活動、在住外国人支援活動を行っている機関等の連携は、今後も地域で同様の活動を継続していく上で欠かせないものとする。

(5) 改善点、今後の課題について

日本語教育実施においては、取組内容として、「生活日本語」に焦点を当てた学習時、よりテーマを絞り込んだ内容を検討したい。読み物や社会性のあるニュースを教材として取り入れることを含め、漢字習得に焦点を当てた内容を多く盛り込むこと、学習者のニーズによっては職場の接客会話等で敬語を取り入れることを検討する。実施体制として、毎回の学習者が固定しない際の臨機応変の対応、主講師と補助講師の役割分担をより明確化することにより、日本語力の低い学習者に手厚く応じる方策を検討したい。また、参加者の生活事情に配慮し、年末、年始のスケジュールを検討したい。

日本語教育を行う人材の養成・研修においては、実践研修時、補助講師を置かない等人員の配置検討したい。合わせて遅刻者等への対応を考慮し、時間の配分や講師の配置などでの工夫を考えたい。また、両事業において、受講者募集の広報活動を強化する方策を更に検討したい。

日本語教育のための学習教材の作成においては、今年度97枚の教材をあらたに作成したが、来年度受託事業においても更に幅広い学習テーマの教材を開発し、支援者および学習者に供することに努める。

地域の関係者との連携においては、今回連携した機関との関係を更に深め、引き続き協力を推し進めていく所存である。

(6) その他参考資料

以下の資料を添付します。

添付資料1 運営委員会議事録

添付資料2 「日本語教室」出欠表

添付資料3 「日本語教室」授業報告

添付資料4 「日本語教室」募集チラシ

添付資料5 「日本語教室」受講者アンケート及びアンケート集計結果

添付資料6 「支援者研修」出欠表

添付資料7 「支援者研修」授業報告

添付資料8 「支援者研修」募集チラシ

添付資料9 「支援者研修」受講者アンケート及びアンケート集計結果

添付資料10 作成教材リストおよび作成教材一式